



平成28年1月に酒々井消防署の消防ポンプ車が更新されました。車両室内の天井部分には積載品を収納出来る棚が設置されており、積載品が室内を圧迫して活動の支障にならない様な工夫がされています。

車両外周にはLEDの作業灯が装備され視認性、安全性を高めており、車両後部には電動式乗用ホースカートを積載しています。

また、これまでの車両より車体の大きさがコンパクトで大型車両が進入出来ない狭路にも進入が可能です。さらにAED等の救急資器材を新たに積載したことで救急隊とともに活動が可能となり、幅広い活躍が期待されています。

新しい消防車両の見学は随時可能ですので、皆さんの見学お待ちしております!!

■問合せ先 酒々井消防署
☎043(497)0119



〈LED作業灯(側面)〉



〈LED作業灯(後部)〉



〈収納棚〉



熱中症に注意／蜂に注意／
119情報登録／災害発生状況………2
違反対象物公表制度／
災害発生時の災害用伝言サービス／
消防組合の救急自動車がアプリ力で活躍 3
救助技術大会結果／耐熱熱気訓練／
認知症サポーター養成講座開催／
音楽隊フェスティバル／情報公開制度……4

**酒々井消防署
消防ポンプ自動車更新!!**



「救急フェア」開催!

消防庁及び厚生労働省では、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的として、9月9日(土)を「救急の日」、この日を含む1週間(今年は9月4日(日)から9月10日(土)まで)を「救急医療週間」としています。

消防組合では毎年、この時期に救急フェアを開催しており、今年は次のおり開催します。

みなさんの参加を心からお待ちしています。

■問い合わせ先
消防本部警防課救急救助係
☎043(481)1248

〈日時〉
平成28年9月3日(土)
11時00分から13時00分
※雨天時は店内で実施します

〈場所〉
イオンタウンユーカリが丘(佐倉市西ユーカリが丘6丁目12-13)

〈内容〉
①応急手当の実技指導(心肺蘇生法)
②救急車両展示(雨天中止)
③模擬電話による119番通報訓練
④広報物品の配布
⑤消防音楽隊によるミニコンサート(雨天中止)



熱中症

残暑にも気を抜かず
予防しましょう!



「熱中症」とは、室温や気温が高い中で、体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調節機能がなくな

り、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどい時には痙攣や意識の異常など、様々な障害をおこす症状のことです。

熱中症予防のポイント

- 部屋の温度をこまめにチェックしましょう。(普段過ごす部屋には温度計を置く。)
- 室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう。
- のどが渇かなくてもこまめに水分補給しましょう。
- 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策もしましょう。
- 作業や運動中は、無理をせず適度に休憩をしましょう。
- 日ごろから栄養バランスの良い食事と体力づくりをしましょう。

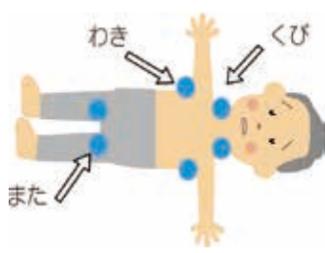


「熱中症かな?」と思ったら

もし、熱中症になっ

ような応急手当をしましょう。

- 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせましょう。
- エアコンをつける、扇風機、うちわなどで風をあて、体を冷やす。



- 水分が飲めるようであれば、少しずつ頻繁に取らせましょう。

こんな時はためらわずに救急車を呼びましょう。

- 自分で水が飲めなかつたり、脱力感や倦怠感が強く、動けない場合。
- 意識がない(おかしい)、全身いれんなどの症状がある場合。



蜂にご注意!

アナフィラキシーショック



「アナフィラキシー」とは極めて短時間で全身に重いアレルギー症状が出る反応のことをいい、血圧の低下、意識障害、呼吸困難などが起きて生命に危険な状態になることを「アナフィラキシーショック」といいます。

特に気を付けてほしい原因のひとつはスズメバチ、アシナガバチなど蜂に刺されたために起こるアレルギー反応で、これ

によるアナフィラキシーショックは刺されてから症状が出るまで10分から15分程度と非常に短く、全国では年間20人ほどが治療が間に合わず亡くなっています。

蜂の活動時期は春から秋ですが、攻撃性が高まるのは8月から10月頃で、この時期は特に蜂刺されに注意する必要があります。

残っている場合には、あまり無理をして取り除いたり、毒を出すためにつまんだりすると、逆に毒そのものや毒針、細菌を体内に押し込んでしまう危険性がありますので、ただちに最寄りの医療機関を受診し、医師による適切な処置・治療を受けるようにしてください。

症状が重い時は救急車を!

全身のじんましんや息苦しさ、めまい、動悸などを感じた場合はすぐに119番へ電話し、救急車を呼んでください。

119情報登録について

65歳以上の方、若しくは身体に重度の障がいがある方(身体障害者手帳1級又は2級の交付を受けている方)で、一定の条件に該当する方は、119情報登録の申請ができます。

119情報登録は、既往歴、かかりつけの病院及び緊急連絡先などの情報を消防組合で把握しておくことにより、緊急時における対応をより迅速に行うことを目的としています。

申請書は消防組合のホームページからダウンロードできます。最寄りの消防署及び出張所にも備えてありますので、必要事項を記入、押印の上、

- 同居人がいない方
- 同居人がいてもその方が次の項目に該当するか、18歳未満の場合
- ① 65歳以上の方
- ② 身体に重度の障がいがある方(身体障害者手帳1級又は2級の交付を受けている方)

■ 問い合わせ先
消防本部指揮指令課
☎043(481)0119

119番通報はできるだけ固定電話でお願いします

119番通報を受信する「119番通報共同指令センター」では、位置情報通知装置により通報された方の位置情報を取得することができ、これにより速やかに災害地点を特定し、通報から消防車や救急車などの出動までの所要時間を短縮することができ、しかしながら、携帯電話からの通報の場合、通報場所に誤差が生じることがあるので、通報時には必ず「市町村名」から伝えてください。

なお、通報場所の近くに固定電話がある場合は、できるだけ固定電話から通報をお願いします。

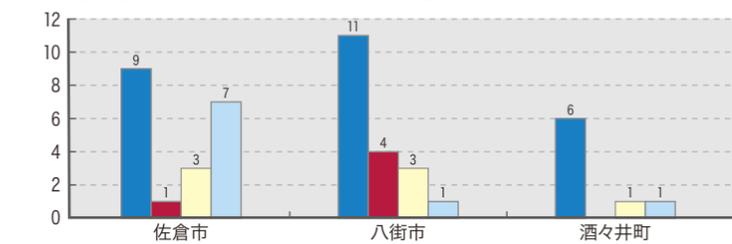
平成28年前期の災害発生状況(1月~6月末)

火災発生件数は47件で、前年と比較すると3件増加しています。火災種別ごとの火災発生件数は、建物火災が26件、その他火災が9件、車両火災が7件、林野火災が5件です。建物火災を火原因別で見ると最も多いのが、「放火(放火の疑いを含む)」により発生した火災で8件、次いで「こんろ」が3件となり、前年と比較して1件の減少であり、構成市町別にみると佐倉市が39件、八街市が22件、酒々井町が5件です。

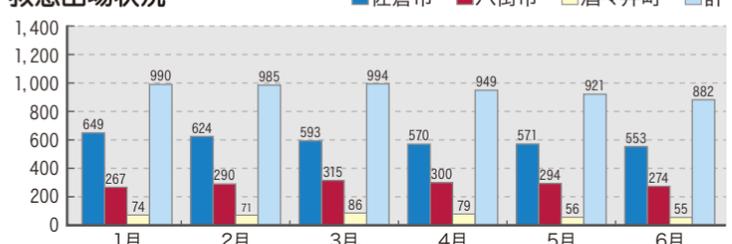
救助出動件数は66件で、前年と比較して1件の減少であり、構成市町別にみると佐倉市が39件、八街市が22件、酒々井町が5件です。

事故種別では「急病」が最も多く3717件、次いで「一般負傷」779件、「交通事故」が494件です。

火災発生状況



救急出場状況



佐倉市八街市酒々井町消防組合公式ホームページ(PC)
住民の皆さん及び事業所の皆さんへお伝えしたい情報を掲載しています。
※読み取ったアドレスをパソコンに転送しご覧になるか、スマートフォンなどでご覧ください。

詳しくは
消防組合
ホームページを
見てね!



平成29年4月1日
から、不特定多数の方が
出入りする建物におい
て消防用設備等の不備
があるなど、重大な消
防法令違反の情報を公
表する制度が始まりま
す。利用者が安心して
建物を利用するため、
自ら情報を入力できる
よう消防組合のホーム
ページ(<http://www.t19-sys.jp>)で公表し
ます。

■問合せ先
消防本部予防課査察調
査係
☎043(481)1225

違反対象物の公表制度 が始まります

平成29年4月1日から施行

災害発生時には災害用伝言 サービスの活用を!

平成23年3月に発生し
た東日本大震災では、家
族などの安否確認の電
話が大量に殺到し、県内
でも電話がつながりにく
くなりました。

こうした災害の発生時で
も家族や知人との安否確
認や避難先の連絡等を行
うことができるのが災害用
伝言サービスです。

災害用伝言サービスは、
毎月1日と15日などに体
験利用ができますので、こ
の機会に家族や知人との安
否確認方法を確認してお
きましょう。

災害用伝言ダイヤル (171)

震度6弱以上の地震な
どの大きな災害が発生した
ときに、被災地の方が
「171」の番号をダイヤルす
ると、自宅の電話番号あ
るに音声による安否情報を
録音することができます。電話
番号を知っている方であれ
ば、全国から再生ができま
す。

一般電話、公衆電話、携
帯電話、PHS、スマート
フォンから利用ができます。

伝言の登録方法

①「171」にダイヤルします

文字で登録することがで
き、電話番号をもとに全
国の携帯電話・PHSから
登録された安否情報を確
認することができます。

携帯電話、PHS、スマ
ートフォンから利用がで
きます。

伝言の登録方法

①メニューのトップページ
から災害用伝言板を選択し
ます。

伝言の再生方法

①「171」にダイヤルします
(ガイドダンス(案内)が流れ
ます)。

②再生するには「2」を
ダイヤル。

③安否を確認したい相手
の市外局番からの電話番
号をダイヤルし、ガイドン
スに従って再生します。



災害用伝言板

震度6弱以上の地震な
どの大きな災害が発生した
ときに、携帯電話・PHS
のインターネット接続機能
を使い、自身の安否情報を

知っていますか? 安否情報まとめて 検索「J-amp」

「電話番号」または「氏
名」を入力することで、各
通信会社が提供する災害
用伝言板、各企業・団体
が提供する安否情報(テ
キスト情報)を一括で検索
し、結果をまとめて確認す
ることができます。なお、
安否情報の検索は、パソコ
ン、インターネット接続に
対応した携帯電話、スマ
ートフォンで可能です。

J-ampの検索ページ

http://amp.jp/
○安否情報まとめて検索
について

NTTとNHKが中心と
なって始まったサービスで
す。安否情報の登録はでき
ず、検索のみのサービスで
すが、各社の情報を一括で
検索できるメリットがあり
ます。



消防組合の救急自動車がアフリカで活躍

平成28年2月26日、アフ
リカ大陸南東部に位置する、
マラウイ共和国ンコタコタ県
セント・アンズ病院へ、消防
組合で約10年間活躍してい
た救急自動車が寄贈されま
した。

この事業は、同病院の要
請に基づき、在マラウイ共
和国日本大使館のODA(政
府開発援助)「草の根・人間
の安全保障無償資金協力」
の資金援助により実現した
もので、救急自動車は、平
成27年12月の車両更新時に
消防組合から一般社団法人
日本外交協会へ寄贈してい
たものです。

救急自動車が贈られた同
病院は、ンコタコタ県内に
2つある二次医療病院の一つ
で、県内住民を含む約7万
1000人に医療サービス
を提供している病院ですが、
この地域では救急自動車が
不足しているため、緊急搬送
が必要な傷病者を地方の診
療所から搬送することがで
きず、救える命が救えない状
況に直面しているそうです。

この救急自動車が活躍し、
質の高い救急医療に役立ち、
より多くの命を救えること
を願い、今後もこのような
事業に貢献できればと考え
ています。



佐倉市八街市酒々井町消防組合ツイッター公式アカウント
緊急情報及びイベント等についてツイートしています。
ぜひ、フォローをお願いします。

QRコード

救助隊員が大活躍 消防救助技術

千葉県大会にて

平成28年6月2日(木)、千葉県消防学校において第41回消防救助技術千葉県大会が行われました。この大会は県内消防本部の救助隊員が一堂に会し、救助技術の安全性・確実性・迅速性を向上させることを目的に、7種目の訓練を行います。



ロープ応用登はん
第4位 海後和也 高森康寿



ロープ応用登はん
第1位 小松政明 石川瑛一

◆ロープ応用登はんとは
2人1組で、登はん者が地上高15mの到達地点まで器具を使わずに補助者の協力を得てロープのみで登り、安全・確実性とタイムを評価します。

※千葉県大会で1位を獲得した小松・石川チームは、8月24日(水)愛媛県松山市で開催された第45回全国消防救助技術大会に千葉県代表として出場しました。



ロープ応用登はん



第38回 千葉県消防音楽隊 フェスティバルが開催されます

千葉県消防音楽隊フェスティバルは、毎年、千葉県内の消防音楽隊が一堂に会し、各グループに分かれて合同で色々なジャンルの曲を演奏し、好評をいただいています。演奏の間にはゲスト出演や消防広報なども行っています。

消防組合の音楽隊は八千代市消防音楽隊、成田市消防音楽隊とともに総勢90名で合同演奏をしますので、興味のある方はぜひお越しください。

平成28年10月15日(土)

- 当グループの演奏曲
- ・フローレンティナーマーチ
 - ・スターウォーズマーチ
 - ・STORY (映画「ベイマックス」より)
 - ・君をのせて (映画「天空の城ラピュタ」より)



12時15分開場
13時10分開演

〔場所〕
森のホール21
(松戸市千駄堀64-4)
☎047(384)5050
※入場無料、全席自由
予約受付はありません
■問い合わせ先
消防本部総務課
☎043(481)1206

耐熱熱気訓練の実施

平成28年2月16日、17日の両日にわたり、八街市の株式会社ニチボウが開発したコンテナ型訓練装置を借用し耐熱熱気訓練を実施しました。

この訓練装置は、コンテナ内の温度を上層部約230℃、中層部約150℃、下層部約70℃の実際の火災に近い熱気を再現することができ、熱気層への進入時における放水要領など様々な状況を経験することにより、消火戦術の理解及び火災に対する基本的な知識の向上につながりました。



また、隣接する山武郡市広域行政組合の職員も視察に訪れ、貴重な意見交換もでき有意義な訓練となりました。

認知症サポーター養成講座開催



6月23日、佐倉市高齢者福祉課から講師を招き、職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、42名が認知症の人と接するときの心がまえなどを学びました。

認知症サポーターとは？
厚生労働省が平成17年から始めた認知症対策で、認知症を正しく理解し、地域の認知症を患う人やその家族を支援する人のことをいい、現在、認知症サポーターの総数は全国で760万人を超えています。

指定の養成講座を受講すれば誰でもなることができ、修了後に配付されるオリジナルリングは、支援の連携の印として受講者に配られています。

日頃の消防活動へ
消防組合の平成27年中の救急統計では、救急搬送人員1万620人のうち、65歳以上の高齢者が6108人と全体の約58%を占める状況で、今後、災害現場等でも認知症の方への対応も増えてくるのが予測されます。

受講した職員は、オリジナルリングを受け取り、「学んだことを日頃の消防活動に役立てたい。」と話していました。

平成27年度情報公開制度及び個人情報保護制度の実施状況

情報公開制度

実施機関別公文書の開示請求件数と処理状況

実施機関名	請求件数	公文書件数	決定内容など				
			全部開示	部分開示	不開示 (不存など)	却下	取下げ
管理者	17	17	2	15	0	0	0
議会	0	0	0	0	0	0	0
監査委員	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	17	2	15	0	0	0

※請求された公文書の主な内容…防火対象物、危険物施設及び救急に関する文書など
※情報公開審査委員に対する不服の申出、相談及び苦情など…なし

個人情報保護制度

自己情報の開示請求件数と処理状況

請求件数	公文書件数	決定内容など				
		開示	一部開示	不開示	却下	取下げ
1	1	0	1	0	0	0

※請求された公文書の主な内容…火災調査書類に関する文書
※個人情報保護委員に対する不服の申出、相談及び苦情など…なし